

種類	役名	点数	説明
門断平	平和	5点	手に順子四つで、刻子／槓子は無い(雀頭、待ち型、門前は不問)
	門前清	5点	和がるまで吃、碰、明槓をしない、基本和了形の手。ロン和、暗槓は可。
	断么九	5点	手は中張数牌(2~8)のみで構成され、么九、字牌は無い。
連続類	一气通貫	40点	一色の「123」「456」「789」の三つの順子。
	三連刻	100点	一色で三つの連続した数の刻子／槓子。
	四連刻	200点	一色で四つの連続した数の刻子／槓子。
一色類	混一色	40点	手は一色の数牌と字牌のみで構成される。
	清一色	100点	手は一色の数牌のみで構成される。
	九蓮宝灯	480点	手の中に一色の「1112345678999」を持っていて、最後にその一色のどれかの牌で和がる。
三色類	三色小同刻	30点	三色で同じ数の刻子／槓子二つと雀頭。
	三色同順	35点	三色で同じ数の順子三つ。
	三色同刻	120点	三色で同じ数の刻子／槓子三つ。
一色同順類	一盃口	10点	一色で同じ数の順子二つ。(門前に限定されることはない。)
	二盃口	55点	手に「一盃口」を二セット含む。(門前に限定されることはない。)
	一色三同順	120点	一色で同じ数の順子三つ。
	一色四同順	480点	一色で同じ数の順子四つ。
么九類	混全帯么	40点	4組の牌と雀頭それぞれに么九牌或いは字牌が含まれる。略して「チャンタ」と読む
	純全帯么	50点	4組の牌と雀頭それぞれに么九数牌が含まれる。
	混么九	100点	即ち「混老頭」。么九牌と字牌のみで構成される「対々和」或いは「七対子」の手。
	清么九	400点	即ち「清老頭」。手は么九数牌のみで構成される。
特殊和了形	七対子	30点	七つの対子で構成する手 ※4枚同じの牌は槓をしない限り二つの対子として扱える。
※「門前清」は加算しない	十三么九	160点	「国士無双」とも呼ぶ。十三種類の么九と字牌の中に1種類の対子と、他の12種類を一枚ずつで構成する手。

種類	役名	点数	説明
字牌類	翻牌：一組ごと	10点	門風(自風)、三元牌の刻子／槓子。注意：場風を認めない。
	小三風	30点	風牌の刻子／槓子二つに風牌の雀頭。
	小三元	40点	三元牌の刻子／槓子二つに三元牌の雀頭(三元牌の刻子×2も数えられるので、必ず 40+10+10=60 点以上になる。)
	大三風	120点	風牌の刻子／槓子三つ。
	大三元	130点	三元牌の刻子／槓子三つ。(三元牌の刻子×3も数えられるので、必ず 130+10+10+10=160 点以上になる。)
	字一色	320点	手は字牌のみで構成される。
	小四喜	320点	風牌の刻子／槓子三つに風牌の雀頭。
	大四喜	400点	風牌の刻子／槓子四つ。
刻槓類	二暗刻	5点	手には暗刻／暗槓が二つ含まれる。
	一槓子	5点	手には槓子が一つ含まれる。(明槓、暗槓は不問。)
	二槓子	20点	手には槓子が二つ含まれる。(明槓、暗槓は不問。)
	三暗刻	30点	手には暗刻／暗槓が三つ含まれる。
	対々和	30点	手に刻子／槓子四つで、順子は無い。
	三槓子	120点	手には槓子が三つ含まれる。(明槓、暗槓は不問。)
	四暗刻	125点	手には暗刻／暗槓が四つ含まれる。
	四槓子	480点	手には槓子が四つ含まれる。(明槓、暗槓は不問。)
偶然類	海底撈月	10点	「海底牌」(牌山の最後の自摸牌)で和がる。
	河底撈魚	10点	「河底牌」(海底牌を引いた人の最後の捨牌)でロン和。
	嶺上開花	10点	「嶺上牌」(槓をした時で引く牌)で自摸和。嶺上牌は海底牌でもある場合、両方も数えられる。
	搶槓	10点	「搶槓」(他家が「小明槓」した時、その槓をした牌)で和がる。
	天和	155点	東家の 14 枚の配牌で和がる。東家の暗槓で無効。
	地和	155点	散家の 13 枚の配牌で聴牌し、東家の初めての捨牌で和がる。東家の暗槓で無効。